

(仮想化基礎検定試験例題 10問)

1. サーバ仮想化に関する説明として正しいものはどれか。
 - A. 高性能サーバが不要になる。
 - B. OS のアップデートが不要になる。
 - C. ハードウェアとソフトウェアのライフサイクルギャップを埋めることができる。
 - D. ハードウェアが搭載する CPU 数以上の処理能力を生み出せる。

〔正答：C〕

2. 仮想マシンの設定情報に関する説明として誤っているものはどれか。
 - A. BIOS も仮想化されファイルになっている。
 - B. ホスト OS のレジストリ情報で管理している。
 - C. 異なるハードウェアの VMM 上にコピーして利用することもできる。
 - D. ホスト OS 上では 1 つのファイルとしてまとめられている。

〔正答：B〕

3. ライブマイグレーションに関する説明として正しいものはどれか。
 - A. 仮想マシンからハードウェアに直接アクセスすることで性能向上させる機能である。
 - B. ネットワークを利用して仮想マシンの動作を別のサーバでモニタリングする機能である。
 - C. 障害が発生したときに仮想マシンを別のサーバ上で再起動させる機能である。
 - D. 動作中の仮想マシンを停止させることなく別の物理サーバに移動させる機能である。

〔正答：D〕

4. ホスト OS 型の VMM に関する説明として正しいものはどれか。
 - A. ハイパーバイザ型よりパフォーマンスが良い。
 - B. ゲスト OS のプロセスとして動作する。
 - C. 対応するハードウェアがハイパーバイザ型より多い。
 - D. ゲスト OS 管理用のコンピュータが別途必要になる場合がある

〔正答：C〕

5. 仮想化における HA クラスタに関する説明として正しいものはどれか。
 - A. フェイルオーバーさせるため、仮想マシンの設定情報を共有ディスクより取得する。
 - B. 待機系の物理サーバをコールドスタンバイさせておく必要がある。
 - C. HA クラスタが使えるかどうかは、仮想マシンの OS に依存する。
 - D. HA クラスタ用の特別なアプリケーションが必要である。

〔正答：A〕

6. シンプロビジョニングに関する説明として正しいものはどれか。

- A. 利用側へストレージを割り当てると、物理ディスクも同じ容量が確保される。
- B. 複数の物理ストレージを共通プールとし、利用側へ仮想ストレージを提供する。
- C. ファイルを圧縮して保存することで、ディスクを効率的に利用する手法である。
- D. 物理ディスクのロットを併せる必要がある。

〔正答：B〕

7. NIC チーミングの機能として誤っているものはどれか。

- A. 冗長化
- B. リンクアグリゲーション
- C. ファイアウォール
- D. 負荷分散

〔正答：C〕

8. リングプロテクションに関する説明として正しいものはどれか。

- A. アプリケーションの不具合によるシステムへの影響を防御できる。
- B. リング 3 よりリング 0 のほうが制限が厳しい。
- C. マルチタスクを実行できる。
- D. ウイルスの侵入を防ぐことができる。

〔正答：A〕

9. CPU の仮想化支援機能に関する説明として正しいものはどれか。

- A. ハイパーバイザー型の VMM は利用できない。
- B. プログラムで仮想化支援機能のオン・オフを切り替えることができる。
- C. VMM のオーバーヘッドを軽減できる。
- D. センシティブ命令は検出できない。

〔正答：C〕

10. IaaS に関する説明として正しいものはどれか。

- A. アプリケーション開発環境を提供する。
- B. コンピュータのデスクトップ環境を提供する。
- C. サーバやネットワークなどのハードウェア環境を提供する。
- D. アプリケーション機能を提供する。

〔正答：C〕